

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 9 月 19 日 (2019.9.19)

【公表番号】特表 2019-501108 (P2019-501108A)

【公表日】平成 31 年 1 月 17 日 (2019.1.17)

【年通号数】公開・登録公報 2019-002

【出願番号】特願 2018-501271 (P2018-501271)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/17 (2006.01)

A 6 1 K 35/618 (2015.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/02 (2006.01)

A 6 1 P 11/02 (2006.01)

A 6 1 P 27/16 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

A 6 1 P 15/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 K 9/06 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 K 9/12 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 38/17

A 6 1 K 35/618

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 1/02

A 6 1 P 11/02

A 6 1 P 27/16

A 6 1 P 27/02

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 1/04

A 6 1 P 15/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 K 9/06

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 9/12

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 8 月 5 日 (2019.8.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

粘膜の炎症の治療のための組成物の製造における、活性成分としての M A P の使用。

【請求項 2】

前記MAPは、mefp - 1、mefp - 2、mefp - 3、mefp - 4、mefp - 5、mefp - 6、コラーゲンpre - COL - P、pre - COL - D、pre - COL - NG、ならびにイガイ足マトリックスタンパク質PTMP及びDTMPからなる群から選択されるサブタイプのうちの1つ以上を含む、請求項1に記載の使用。

【請求項3】

前記MAPは、前記群mefp - 1、mefp - 2、mefp - 3、mefp - 4、mefp - 5、及びmefp - 6から選択される前記サブタイプのうちの1つ以上を含む、請求項2に記載の使用。

【請求項4】

前記MAPは、mefp - 1を含む、請求項3に記載の使用。

【請求項5】

前記MAPの濃度は、0.1～15.0mg/mLである、請求項1～4のいずれか一項に記載の使用。

【請求項6】

前記組成物は、液体製剤、ゲル製剤、またはフォーム製剤である、請求項1～5のいずれか一項に記載の使用。

【請求項7】

最終生成物中のMAPは、pH1.0～7.0の範囲であり、特にpH3.0～6.5の範囲である、請求項1～6のいずれか一項に記載の使用。

【請求項8】

前記粘膜の炎症は、口腔粘膜炎症、鼻炎、中耳炎、結膜炎、咽頭炎、喉頭炎、気管炎、食道炎、胃炎、小腸結腸炎、子宮頸管炎、子宮内膜炎、気道熱傷によって引き起こされる炎症等から選択される、請求項1～7のいずれか一項に記載のMAPの使用。

【請求項9】

前記MAPは、口腔粘膜炎症、鼻炎、中耳炎、結膜炎、咽頭炎、喉頭炎、気管炎、食道炎、胃炎、小腸結腸炎、子宮頸管炎、子宮内膜炎等のうちの1つ以上によって引き起こされる、口腔癌、鼻咽頭癌、中耳癌、結膜癌、咽喉癌、気管癌、食道癌、胃癌、腸癌、子宮頸癌、子宮内膜癌等を治療する、請求項1～7のいずれか一項に記載のMAPの使用。

【請求項10】

前記組成物は、経口投与、舌下投与、灌流によって使用され、点眼薬、点鼻薬、口腔噴霧剤、体腔鏡、直接局所徐放製剤の形態で、または標的投与によって使用される、請求項1～9のいずれか一項に記載の使用。

【請求項11】

前記組成物は、薬物、化粧品、消毒用品、ヘルスケア用品、食品、または家庭用化学品である、請求項1～10のいずれか一項に記載のMAPの使用。